※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	Survive!!　高等学校　家庭基礎（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇実生活に身近な科目として興味を持ち、基礎的な知識と技術を身に付けましょう。
〇この先のライフステージで起こる様々な課題を見通し、生活を創造できるよう、学んでいきましょう。
〇学んだこと、考えたこと、身に付けた技能を実生活に活かし、自立を目指しましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。

（１）　人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けている。

（２）　家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。

（３）　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	消費生活・環境	・成年年齢の引き下げ ・契約と消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・消費者の意思決定 ・生活費と家計 ・将来の経済計画 ・これからの消費生活	a:家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理、消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組み、生活と環境の関わり、持続可能な社会に参画することの意義について理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 b:生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c:生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 成果物	授業観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

	衣生活	・人と衣服 ・衣服計画・衣服の表示 ・衣服の成り立ち、衣服素材の性能と着心地 ・衣服の構成 ・衣服の手入れ・管理 ・これからの衣生活	a:ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:被服の機能性や快適性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c:被服の機能性や快適性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※令和４年度以降入学生用

	食生活	・人と食生活 ・食品と栄養素 ・食品の選択・保存、安全な取り扱い ・献立作成 ・調理の基本 ・調理実習 ・これからの食生活	a:ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 b:食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c:食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 成果物	授業観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

２学期	住生活	・人と住まい ・ライフスタイルと住まい ・安全な住まい ・衛生的な住まい ・これからの住生活	a: ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c: 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※令和４年度以降入学生用

	子どもの保育	・子どもの発達 ・子どもの遊び ・子どもの生活・大人の役割 ・子育て環境、子育て支援	a: 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切にかかわるための基礎的な技能を身に付けている。 b:子供を生み育てることの意義や、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c: 子供を生み育てることの意義や、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※令和４年度以降入学生用

	高齢期の生活	・高齢期を理解する ・高齢者の生活を支える仕組み ・地域で支える高齢社会	a:高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や看護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 b:高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c:高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査 成果物	授業観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

３学期	共生社会	・ともに生き、支えあう社会	a:生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:家庭や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 C:家庭や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※令和４年度以降入学生用

	生活設計	・青年期を生きる ・現代の家族 ・家族生活の成り立ち ・家族と法律 ・生活設計	a:生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 b:家庭や環境のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 C:家庭や環境のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活を創造し、実践しようとしている。	定期考査	定期考査成果物	授業観察ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度